



PROFILE

渡邊啓太 25歳 阪南大学職員

出身地/埼玉県川越市 現在松原市在住

主な戦績(2017)

- ショートトラック・スピードスケートワールドカップ第1戦(ハンガリーブダペスト) 男子5000mリレー銅メダル
- 冬季アジア札幌大会男子1000m銅メダル 男子5000mリレー銅メダル ほか多数

阪南大学の所属であり、松原市の代表であり、

日本代表だと思っている。誇りをもって現地で戦いたい —

祝

平昌オリンピック

出場 渡邊選手

澤井市長に表敬訪問しました

1月9日、渡邊選手が市役所を訪れ、澤井市長と対談しました。

市では「松原がんばる市民応援基金」の制度などでサポートしてきており、この度の出場決定にあわせ、市役所に横断幕を設置するなど、市全体で応援ムードを盛り上げる取り組みを行っています。

【澤井市長】この度は、オリンピック出場おめでとうございます。初めて表敬に来ていただいたのが約7年前。その時からずっと渡邊選手を応援させていたっており、自分のことのように嬉しいです。明るい話題ですので、市民の皆さんも喜んでいただいています。オリンピック出場が決定した今のお気持ちはいかがですか。

【渡邊選手】前回のソチオリンピックには出場できず悔しい思いをしたので、まずは安心しました。しかし、今回の最終選考でいい結果を残せなかったのが、悔しい思いがあります。今後の糧にしたいです。

【澤井市長】ソチオリンピックから約4年間、苦勞したことは何ですか。

【渡邊選手】結果が出ずに空回りば

かりで苦しい時期がありました。監督をはじめ、周りの人の支えもあり、前を向いて頑張れました。

【澤井市長】渡邊選手が初めて表敬に来ていただいたとき、周りの方々への感謝の気持ちを語っていたのが今でも印象に残っています。この選手は伸びると思うていたら、本当にオリンピック選手になりました。

【渡邊選手】皆さんの支えがあったこの機会をつかむことができたので、感謝の気持ちは忘れません。恩返しのためにも最高の準備をし、誇りをもって現地で戦いたいです。

【澤井市長】では皆さんに、どのような決意・目標を持っているかについて聞かせてもらえますか。

【渡邊選手】今まで、金メダルを獲るといふ目標を立てて努力をしてきました。目標はもちろん金メダルです。

【澤井市長】金メダルを獲るといふ宣言はプレッシャーになりませんか。

【渡邊選手】不安もありますが、乗り越えるくらいでないとメダルは獲れないと思っています。今は初のオリンピックでワクワクしています。

【澤井市長】今の気持ちををもって、楽しんできてほしい。金メダルをもって松原市に凱旋してください！